

ぶんかざいまるちなび

文化財知ナビ

No.22

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」のひとつとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

どうしていぶんかざい いりえかいづかしゅつどひん 道指定文化財「入江貝塚出土品」

平成26年3月29日に新たに指定された有形文化財「入江貝塚出土品」を紹介します。

●入江貝塚

入江貝塚は、胆振管内洞爺湖町の噴火湾に面した高台に位置する国指定史跡「入江・高砂貝塚」の一部で、現在、世界遺産登録を目指している縄文遺跡群の構成資産の1つです。縄文人が生活していた集落跡であり、貝塚、竪穴住居跡、お墓などが見つかっています。



<生産用具>



<装飾品>

●出土品の内容

平成5年に旧虻田町教育委員会が町道工事に伴って実施した発掘調査により、土器や石器などがおよそ14万点出土しました。

この中で文化財に指定された出土品は、骨・角・牙・貝で作られた縄文時代の製品134点です。トド、アザラシなどの海獣類や大型の魚を捕る時に使う銛頭、魚釣り用の釣針などの生産用具、北海道には生息しないイノシシの牙を加工したものや南の海でしか採れないイモガイ、オオツタノハガイなどを素材としたペンダントや腕輪もあります。

これらの出土品は、縄文時代に北海道で暮らした人々の具体的な生活の様子のほか、交易や装身文化を知ることができる貴重な考古資料です。

●展示場所

入江・高砂貝塚館（虻田郡洞爺湖町高砂町44番地）に展示されています。

是非一度足を運び、縄文人のくらしを体感してみませんか。

詳しくはこちらのホームページをご覧ください。

<http://www.town.toyako.hokkaido.jp/iritaka/riyouannnai.html>

【写真提供：洞爺湖町教育委員会】

「JOMONぐるぐる」

ほっかいどう きたとうほく けん かんけい しちよう げんざい ほっかいどう きたとうほく じょうもんいせきぐん せかい いきんとろうく
北海道と北東北3県と関係14市町は、現在、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録
に向けた取組を共同で行っています。

このたび、北海道・北東北の縄文キッズサイト「JOMONぐるぐる」を開設しました。
サイトでは、「JOMONワークシート」「JOMONクイズ」などで、楽しみながら、縄文
文化を学ぶことができますので、縄文時代を「ぐるぐる」と体験してみてください。

JOMONワークシート

3つのワークシートを活用して、縄文文化や

世界遺産について調べることができます。

ワークシート1 縄文遺跡に行こう！

ワークシート2 縄文時代の暮らし

ワークシート3 未来に伝えたい世界遺産



じょうもん
縄文って
なに？



キャラクター「もんぐる」とイヌの「ナワワ」



北海道・北東北の縄文遺跡群 キッズサイト
JOMONぐるぐる



「JOMONぐるぐる」と検索してください。
アドレス <http://jomon-japan.jp/kids>

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.22

発行 平成26年7月18日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111 (内線) 35-620 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp